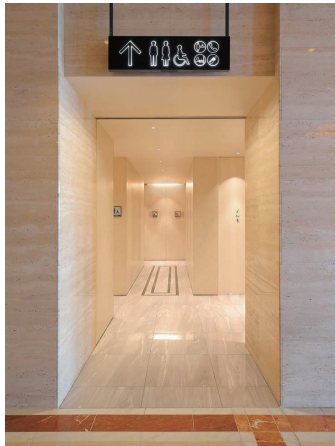


SHIROYAMA HOTEL kagoshima



外観

桜島と鹿児島市街地、そして雄大な錦江湾を一望できる標高108mの城山の頂きに佇むホテル。絶景展望露天温泉からは圧倒的な眺望と極上の癒し空間の中で、四季の景色を存分に堪能できる。客室は、全355室。



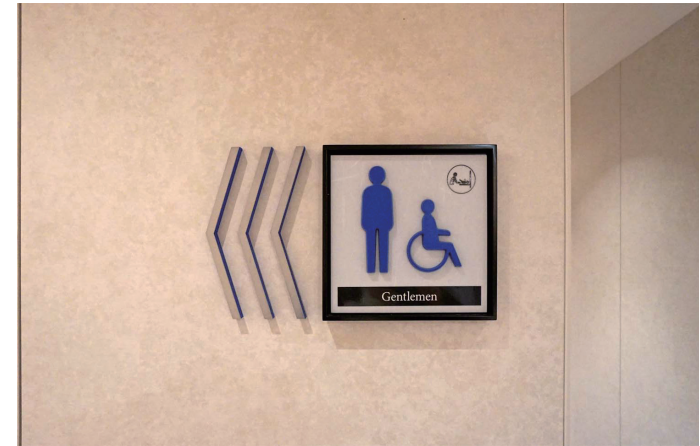
トイレ入口

収容人数1800名のホテル最大のホールに隣接し、多くのお客様が利用することを想定。スペースはホテルのパブリックトイレで最も広く、高級感ある艶やかな設えとした。入口には、トイレの設備がわかるサインを表示。



通路

通路やトイレ内壁面の大部分に、光触媒による抗菌・抗ウイルス効果と意匠性に優れた内装用大型陶板「ハイドロソリッド」を採用。カラーは、SUZU_BEIGEを採用し、全体的に明るく洗練された印象を醸し出している。



男性トイレサイン

入口には、男性トイレ内の機能がひと目でわかるサインを表示。多機能トイレとは別に、男性トイレ内にも車いす使用者が利用できるひろびろブースを設置している。



男性トイレ洗面コーナー

手荷物配慮がされているツインデッキカウンターを採用。ホスピタリティへのこだわりから、カウンター上には、ダストボックスの入れ口を設け、だれもがわかりやすく、使いやすいよう配慮がされている。



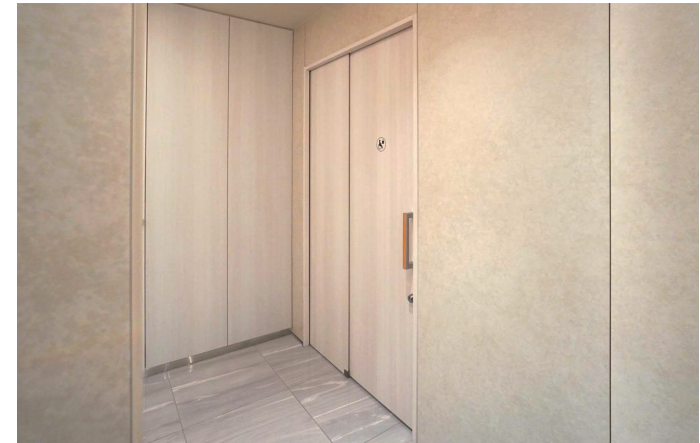
男性トイレ小便器コーナー

プライバシーに配慮し、小便器の間にすりガラスの間仕切りを天井まで設けている。床には、汚れが染み込みにくく、光触媒の効果で汚れやニオイ発生を抑える、ハイドロセラフロアを設置。



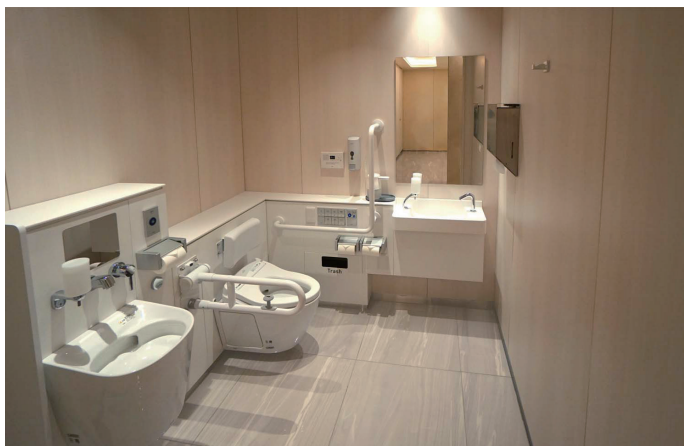
男性トイレ大便器ブース

空間を効率的に活用。一般的な大便器に比べ奥行がコンパクトなパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。さらに、お子様連れに配慮してベビーチェアや荷物を置く棚を設置している。



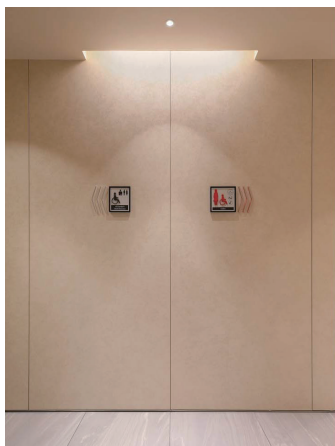
男性トイレひろびろブース

機能分散に配慮し、オールジェンダートイレとは別にひろびろブースを設置。開口部を広く確保できる2枚引戸を採用することで、車いすの使用者が利用しやすいよう配慮している。



男性トイレひろびろブース

ひろびろブース内には、車いす使用者やオストメイトに配慮した、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレバックが採用されている。



女性トイレ・オールジェンダートイレサイン

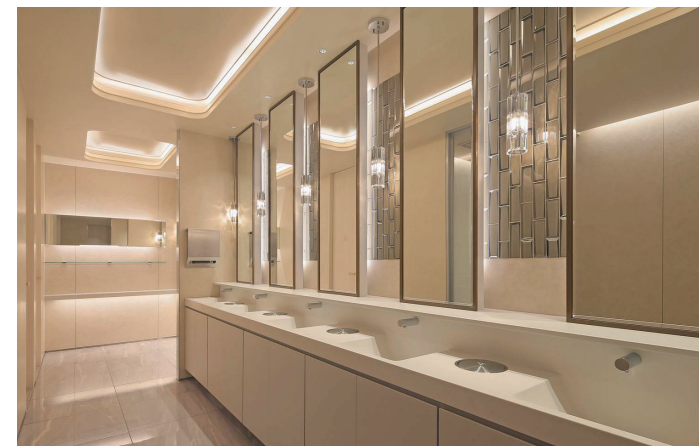


通路には、トイレ内の機能がひと目でわかるサインを表示。オールジェンダートイレのサインには、性的マイノリティに配慮して「All Gender's Multi-function」と表記し、サインカラーに関してもモノトーンにしている。



女性トイレ入口

入口には、身だしなみをチェックできる全身鏡を設置している。全身鏡は壁面の内装用大型陶板ハイドロソリッドと同面になるようにシンプルに納めている。



女性トイレ洗面コーナー

優美な空間に、カウンターとボウルに継ぎ目がなく清掃性に優れ、ドライゾーンがしっかりと確保されているツインデッキ（ボウル一体タイプ）を設置。さらに、節水効果が図れる自動水栓を採用している。

SHIROYAMA HOTEL kagoshima



女性トイレ
大便器コーナー

大便器コーナーの通路は、人が余裕を持って、行き来できる十分なスペースを確保。また、各ブースそれぞれに、ブース内の設備がひと目でわかるサインを表記している。



女性トイレ
大便器ブース

フラッシュバルブ式同様の連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。衛生面に配慮し、ノズルをきれい保つことができる『きれい除菌水』機能を備えたウォシュレットPSを設置している。



授乳室
入口

改修前よりトイレスペースを拡大し、授乳室を2室新設。授乳室入口前にベビーカー置き場を設置。男性でもおむつ替えなどで使用しやすいように、入口の位置を設定している。



女性トイレ
ひろびろブース

男性トイレと同様、機能分散に配慮してトイレ内にひろびろブースを設置。車いすが回転できるスペース（1500φ）を確保し、さらに荷物配慮としてカウンター以外にもフックを設置している。



女性トイレ
スタイリングコーナー

隣人の視線が気にならない個別鏡を採用したコーナーと、ご家族や友達と一緒に身だしなみチェックができる全面鏡コーナーを用意。シーンによって選べるようにしている。



授乳室

ベビーシートのほか、調乳用温水器も設置。授乳時を想定し、壁は淡いピンク色のクロスを採用。リラックスできる空間を演出。また、授乳後の身だしなみをチェックできるように全身鏡を設置した。



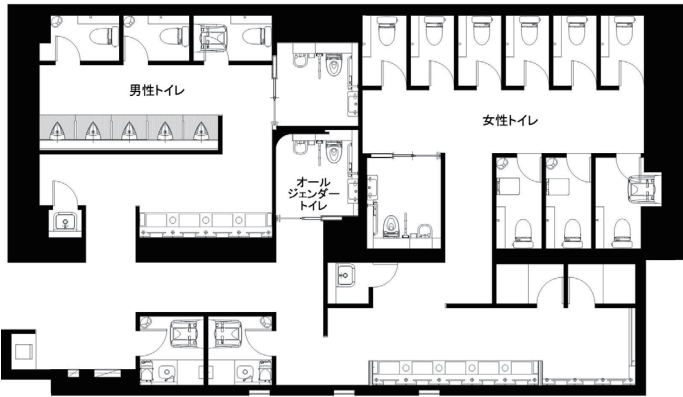
女性トイレ
フィッティングスペース

トイレ内に2ヶ所のフィッティングスペースを設置。トイレとは意匠を変え、落ち着いて利用できる空間。さらに、限られた空間を広く感じさせるよう、床の花柄が鏡越しに連続して続いているような視覚効果を施した。



オールジェンダートイレ

オールジェンダートイレには、必要な器具がパッケージされたコンパクト多機能トイレバックを採用。車いす使用者やオストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備している。



トイレ図面

フロントロビーにも近く、多くの利用が見込まれることから、従来よりも空間を拡張。ホテルの顔としての空間意匠や設備にこだわったトイレリニューアルとなった。

水まわりの特長

建物の概要

「SHIROYAMA HOTEL kagoshima」は、鹿児島の特等席というべきハイグレードホテル。桜島と鹿児島市街地、そして雄大な錦江湾を一望できる。西南戦争で西郷隆盛が率いる薩摩軍の最終本営地とも知られる自然豊かな「城山」に佇み、絶景展望露天温泉は圧倒的な眺望と極上の癒し空間の中で、四季の景色を存分に堪能できる。洗練された客室は27タイプ全355室、多目的に利用できる大小の16会場を完備している。耐震工事をきっかけに、ホテルフロントに隣接するホール「エメラルド」前のトイレ改修を実施。今回改修を行ったトイレは、お客様が多く使用されることから、空間や設備を拡充、空間の意匠も最も艶やかな印象になるようにリニューアルされた。

水まわりの特長

トイレの改修にあたっては、当ホテルのSDGsの取り組みを重視。「館内のバリアフリー化」の一環として、多機能トイレの表記は、全館『AllGender's Multi-function』とした。また、「省エネ」の取り組みとしては、節水・節電器具を選定。それに加え、器具は清掃性・清潔が保てることも選定のポイントとした。大便器は連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式、ウォシュレットは、ボタンを押すたびに発電し、乾電池や電源工事が不要なエコリモコンを採用。また、壁材に関しては、設計担当者が展示会で「ハイドロソリッド」に大判タイルで清潔感があり、照明も映えるとの印象を抱かれ、またさまざまな方が使用することを想定し、ハード素材と美しさを両立する素材として採用に至った。

建築概要

名称	SHIROYAMA HOTEL kagoshima
所在地	鹿児島県鹿児島市新照元町41-1
施主	城山観光株式会社
設計	株式会社東条設計
施工	株式会社前田組
竣工年月	(改修)2020年6月
敷地面積	82,780.77㎡
延床面積	52,030.64㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上10階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*系
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF553*系
自動洗浄小便器:UFS900JCS
ハイドロセラ・フロアPU:AB690系
内装用大型陶板 ハイドロソリッド:ARA300
ツインデッキカウンター（ボウルー一体タイプ）:MKWE
壁付自動水栓:TENA125A
コンパクト多機能トイレバック:UADAK21R1B1ADD1W
ベビーシート:YKA24系
ベビーチェア:YKA16系
フィッティングボード:YKA41系
I型手すり:YHR800W